

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	独立行政法人国立病院機構愛媛医療センター附属看護学校
設置者名	独立行政法人国立病院機構理事長 楠岡 英雄

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程 (三年課程)	看護学科	夜・通信	9単位	9単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://ehime.hosp.go.jp/school/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	独立行政法人国立病院機構愛媛医療センター附属看護学校
設置者名	独立行政法人国立病院機構理事長 楠岡 英雄

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校運営会議
役割	学校運営の円滑化及び適正化を図るために、学則に基づき学校運営会議を設置している。また、会議に多様な意見を反映させるために複数の外部委員を任命し、外部委員の自らの経験を活かして社会や産業界のニーズを踏まえ体験を学校運営に反映させることで、さらなる学校運営の適正化が図られると期待される。 学校運営会議の審議事項は以下の通り ・学校の規定の制定改廃 ・学校の予算の執行計画 ・教育課程の編成に関する事項 ・各年度の教育計画に関する事項 ・学校の講師・実習施設の選定に関する事項 ・学生募集及び入学に関する事項 ・学生の単位・卒業認定に関する事項 ・学生の休学、復学、退学に関する事項 ・転入学者の既習単位等の認定に関する事項 ・学生の就職に関する事項 ・学校運営の評価に関する事項 ・学校の施設設備に関する事項 ・その他学校の運営に関し重要と認める事項

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
愛媛医療センター 看護部長	2022.4.1～ 2023.3.31	看護管理の講師として講義実施
愛媛医療センター 企画課長	2022.4.1～ 2023.3.31	
愛媛医療センター 管理課長	2022.4.1～ 2023.3.31	関係法規の講師として講義実施
愛媛医療センター 経営企画室長	2022.4.1～ 2023.3.31	
愛媛医療センター 副看護部長	2022.4.1～ 2023.3.31	
（備考）		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	独立行政法人国立病院機構愛媛医療センター附属看護学校
設置者名	独立行政法人国立病院機構理事長 楠岡 英雄

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・シラバスには、科目名、単位数、担当講師名、科目目標、学習内容・方法、評価方法、その他の事項を記載している。 ・実習要綱には、科目名、実習目標、実習内容、実習方法、実習評価基準を記載している。 ・学生便覧に、成績評価の基準について記載している。 成績基準：優(80点以上)、良(70点から79点)、可(60点から69点)、不可(60点未満)とし、可以上を合格とする。 ・授業評価については、各授業終了時に学生による授業評価を行っている。この授業評価及びテキスト改訂内容や国家試験の出題基準を踏まえて検討を行い、シラバス、実習要綱の内容を修正している。 ・4月に各学生にシラバス、実習要綱を用いて、履修についての説明を行い、学校ホームページでシラバスを公表する。	
授業計画書の公表方法	https://ehime.hosp.go.jp/school/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 授業科目の評価 ・授業科目の評価については、科目ごとに、筆記試験、口述試験、レポート、実技試験の評価方法等をシラバスに記載している。所定の授業終了後、試験により行っている。 ・実技試験においては、評価基準を設け評価を実施している。 ・実習においては、実習評価表に評価項目及び評価基準を記載している。実習科目終了後に所定の実習評価表により行い、臨床における実習指導者及び看護管理者、実習の担当教員で客観的な評価を行っている。 単位の認定、卒業 ・学生便覧に記載している学則、学則細則、履修規程に則り、授業科目の評価及び単位修得を認定している。 ・3月に学校運営会議を開催し、単位の認定を行い、単位の修得状況については、学生に通知している。 ・卒業は学則、学則細則、履修規程に卒業の要件、判定について定め、2月の学校運営会議において卒業の認定を行っている。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出し、100点満点で点数化し、50点未満、50点以上～60点未満、60点以上～70点未満、70点以上～80点未満、80点以上～90点未満、90点～100点を指標の数値とし、各指標の数値の中に該当する学生の人数を示した。 ・下位 1/4 に該当する人数 9 人、及び、下位 1/4 に該当する指標の数値 76.0 点以下を示した。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://ehime.hosp.go.jp/school/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 当校のディプロマポリシー 1) 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を養っている。 2) 人々の健康と生活を自然・社会・文化的環境とのダイナミックな相互作用、心身相関等の観点から理解する能力を養っている。 3) 生命への尊厳、人々の多様な価値観を認識し、専門職業人としての共感的態度及び倫理観に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養っている。 4) 人々の健康上の問題や課題に対して、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養っている。 5) 健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、終末期など健康や障害の状態に応じた看護を実践するための基礎的能力を養っている。 6) 保険医療福祉制度と他職種の役割を理解し、チーム医療を実践すると共に、人々がその人らしく生活できるように社会資源を活用できるよう調整するための基礎的能力を養っている。 7) 専門職業人として自己啓発に努め、最新知識・技術を主体的に学習する態度を養っている。 ・学則、学則細則、履修規程に則り、授業科目の単位修得の認定を受けた者について、学校運営会議の議を経て卒業を認定する。 ・卒業の認定時期は、授業科目の履修をすべて終了し、単位認定が終了した時点とする。 ・出席日数が出席すべき日数の 3 分の 2 以上であることを要件とする。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://ehime.hosp.go.jp/school/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	独立行政法人国立病院機構愛媛医療センター附属看護学校
設置者名	独立行政法人国立病院機構理事長 楠岡 英雄

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://nho.hosp.go.jp/files/000159073.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://nho.hosp.go.jp/files/000159073.pdf
財産目録	
事業報告書	https://nho.hosp.go.jp/files/000159073.pdf
監事による監査報告（書）	https://nho.hosp.go.jp/files/000159073.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		看護専門課程	看護学科（新課程）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,070 時間/107 単位	1825 時間 /73 単位	210 時間 /11 単位	1035 時間 /23 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
単位時間／単位							
分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		看護専門課程	看護学科（旧課程）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,000 時間/98 単位	1770 時間 /66 単位	195 時間 /9 単位	1035 時間 /23 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
単位時間／単位							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生 数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		111 人	0 人	9 人	90 人	99 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 科目名、単位数、担当講師名、科目目標、学習内容・方法、評価方法、その他の事項を記載したシラバスを作成し、4月始業（入学）時に各学生にシラバスを用いて、履修についての説明を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 講義等の評価は所定の授業終了後、試験等により行う。実習については、実習科目終了後に所定の実習評価表に基づいて行う。
卒業・進級の認定基準

(概要) 授業科目の全てを修了し、単位認定を受けた者について学校運営会議の議を経て卒業・進級認定を行う。
学修支援等
(概要) 学年別指導方針に沿った指導を行っている。また、全学生への担当教員による個別面談を通して進路相談・学習支援を行っている。また、カウンセラーによる学生相談を設け対応している。国家試験対策を各学年に行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
41 人 (100%)	2 人 (4.9%)	39 人 (95.1%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 看護師（国立病院機構、公的病院等）			
(就職指導内容) 2 年次より就職ガイダンスを行い、面談、病院見学の相談を実施している。 3 年次は、就職ガイダンス、個別面談、病院見学やインターンシップ等の案内を行っている。就職に関する相談は随時実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師国家試験受験資格(合格率 100%)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
117 人	2 人	1.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学習・実習への個別指導、保護者を含めた面談、学校カウンセリングの紹介		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	200,000 円	420,000 円	50,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://ehime.hosp.go.jp/school/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
① 教員による自己点検自己評価(「教育理念・教育目的・教育目標」「教育課程経営」「教授・学習・評価過程」「経営・管理過程」「入学」「卒業・就職・進学」「地域社会/国際交流」「研究」)結果について、前年度と比較分析する。 ② 学生による学校評価(学生による卒業時カリキュラムに関する満足度)を前年度と比較検討する。 ③ 国立病院機構附属看護師養成所間の相互評価を実施する。 ④ ①～③について、学校関係者評価委員会に報告し、評価を受けその結果を学校運営に活用する。 学校関係者評価委員会は、次の区分から学校長が委嘱する委員により構成し、毎年委員会を開催する。委員会においては、看護管理者、卒業生、保護者等、各々の立場から、広く意見を聴取する。 ・看護管理者 ・教育に知見のある者 ・卒業生 ・保護者 ・その他学校長が必要と認める者 ⑤ 学校関係者評価委員会における評価結果は、報告書としてまとめ、学校運営会議にて報告後、ホームページにて公表を行う。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
大学教授	1 年	教育に知見のある者
高等学校校長	1 年	教育に知見のある者
病院看護部長	1 年	看護管理者

地域包括支援センター長	1 年	地域における事業所の責任者
同窓生	1 年	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://ehime.hosp.go.jp/school/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://ehime.hosp.go.jp/school/
--

添付書類 1

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学年	科目名	時間数 教員毎	単位	総時間数	担当者名	実務経験	
						有・ 無	具体的実務経験
1	看護学概論	30	1	30	教育主事	有	病院での成人・老年看護、医療安全、看護管理
	基礎看護援助論Ⅱ	30	1	30	専任教員	有	病院での成人・老年看護、看護管理
	基礎看護方法論	30	1	30	専任教員	有	病院での成人・老年看護、看護管理
	成人看護学概論	30	1	30	専任教員	有	病院での成人・老年看護、看護管理
	老年看護学概論	30	1	30	専任教員	有	病院での成人・老年看護、看護管理
2	看護研究	15	1	15	教育主事	有	病院での成人・老年看護、医療安全、看護管理
	母性看護援助論Ⅰ	30	1	30	専任教員	有	病院での母性看護
3	災害看護	15	1	15	専任教員	有	病院での成人・老年看護、看護管理
	看護の統合と実践Ⅰ	30	1	30	教育主事	有	病院での成人・老年看護、医療安全、看護管理
合計		240	9	240			